

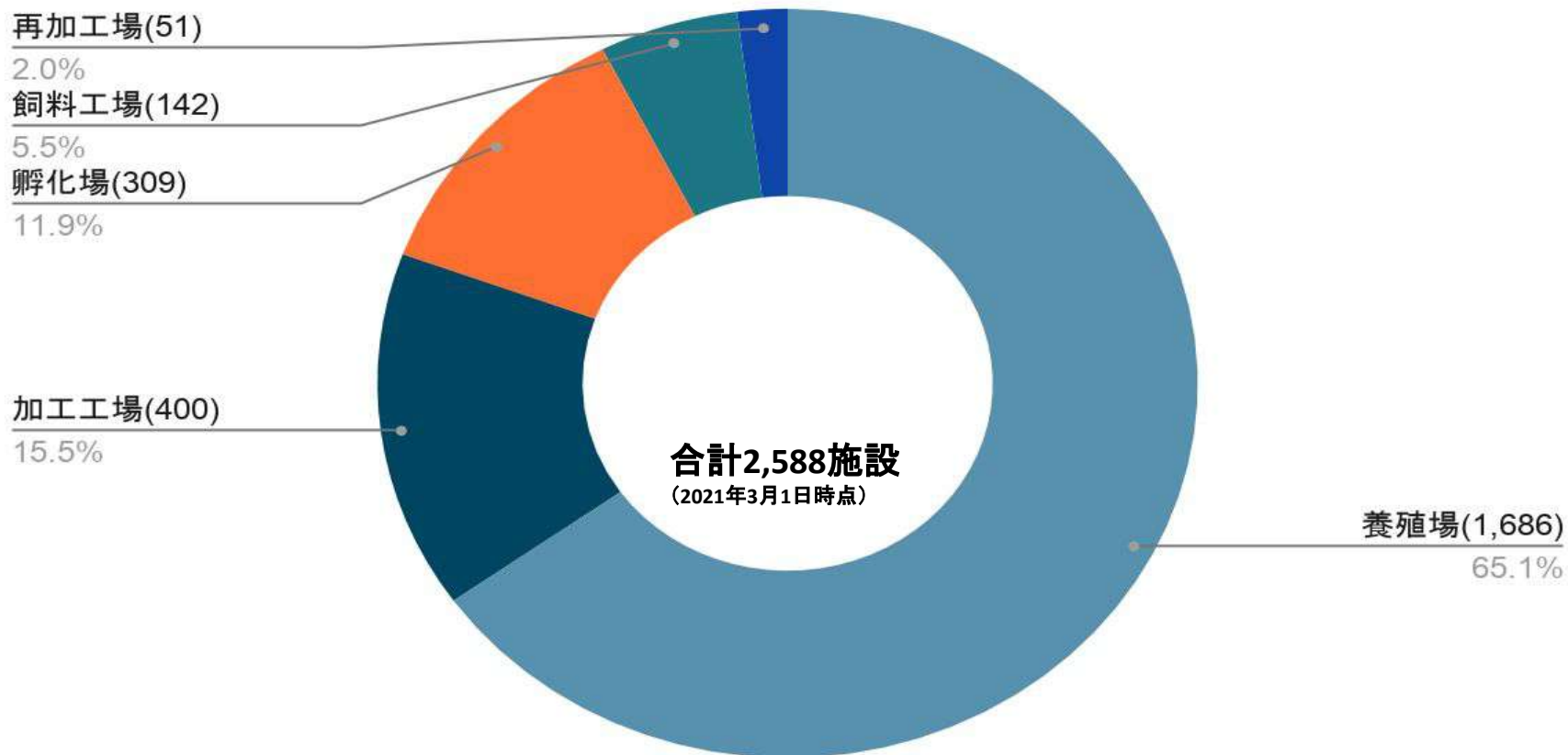
BAP認証ニュースレター

2021年4月



世界での認証施設数

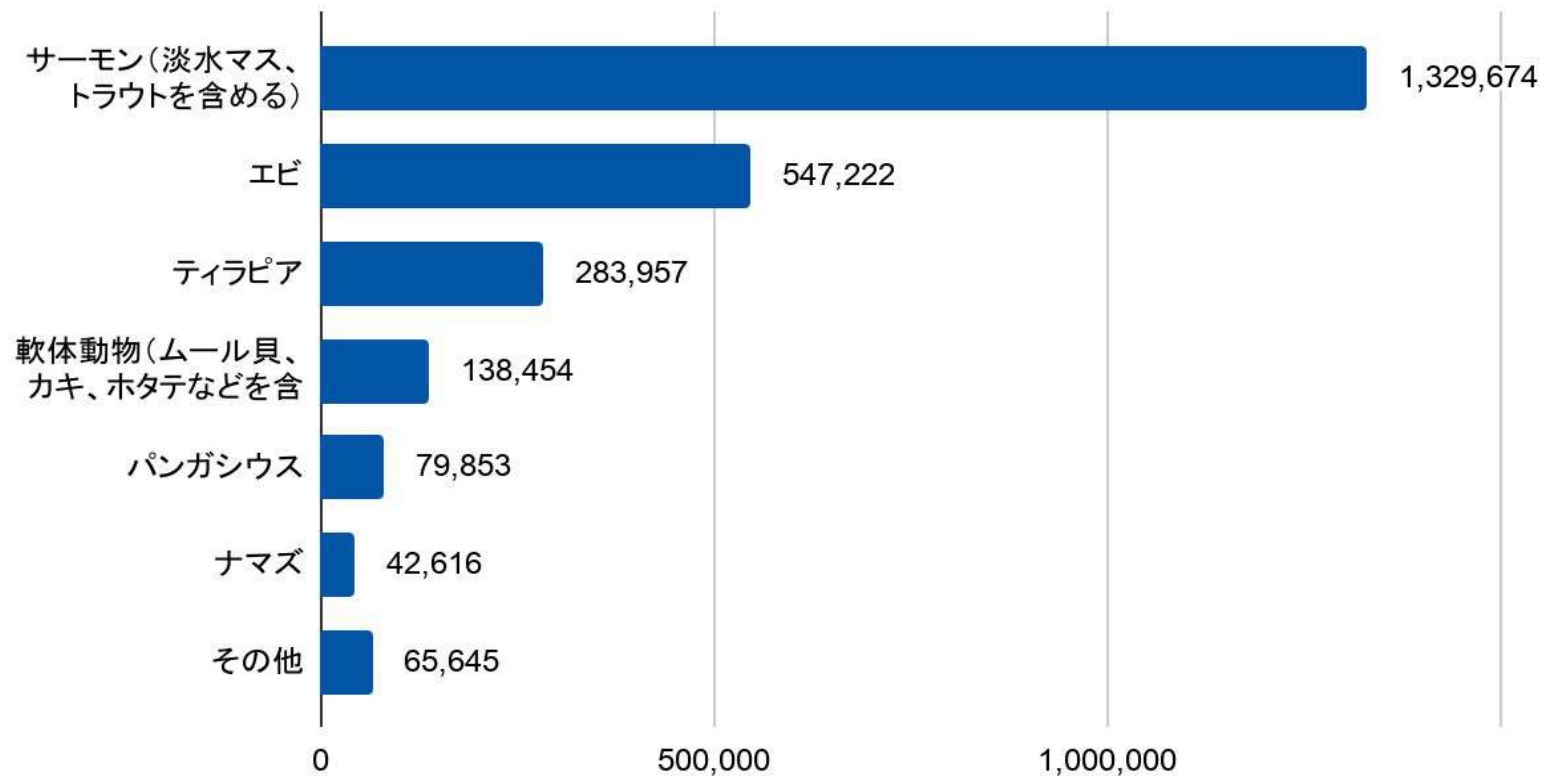
世界でのBAP認証施設数(2021年3月1日時点)



案: 2021年3月1日時点のBAP認証施設数は2,588軒です。
先月の2,533軒より、50軒の増加です。

魚種別の認証生産量1

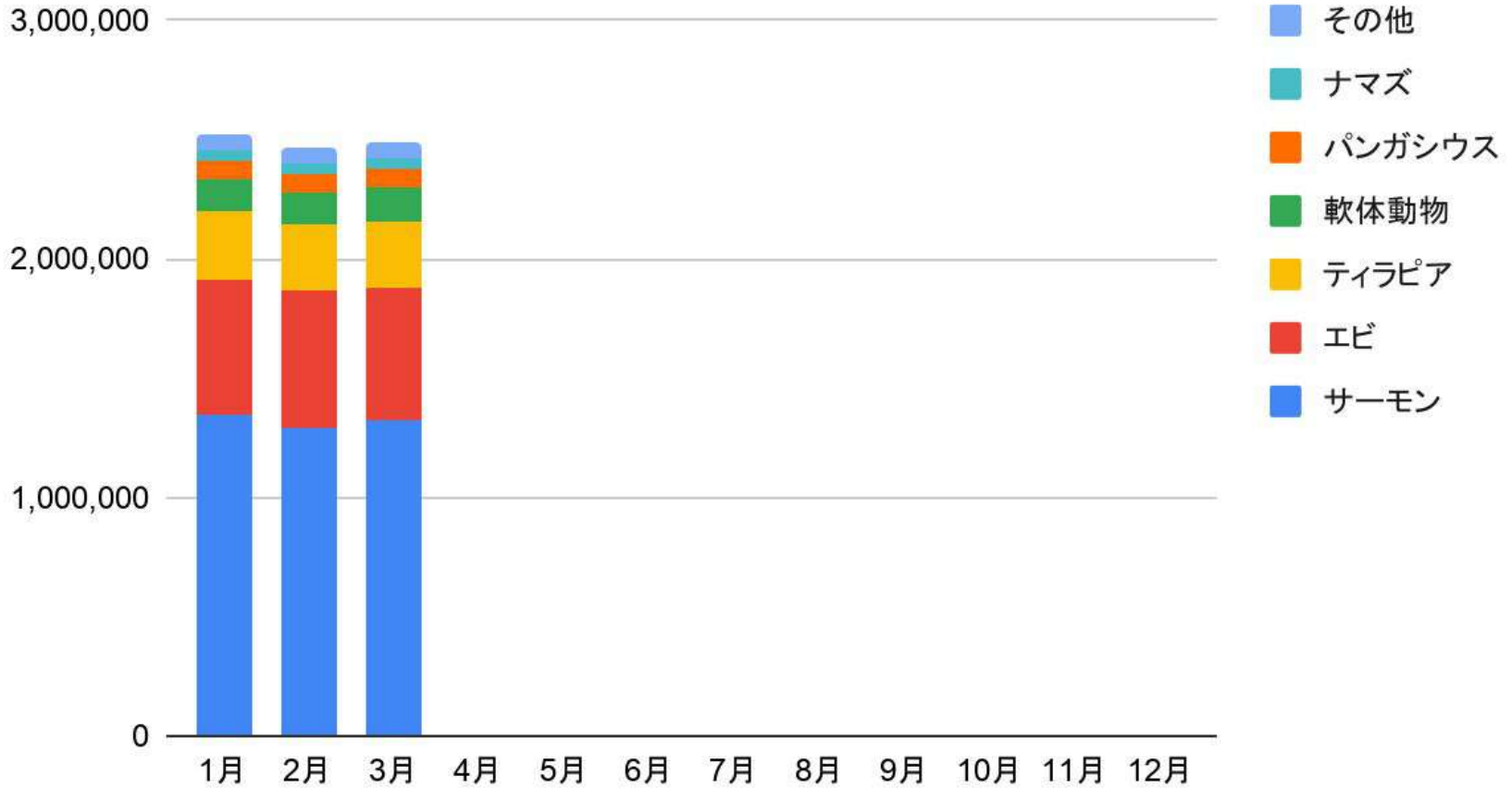
2021年3月1日時点（単位：トン）



2021年3月1日時点、BAP認証水産物の世界合計は **2,487,422トン** です。
先月の2,466,008トンより21,414トンの増加です。

魚種別の認証生産量2(年間の推移)

2021年3月1日更新(単位:トン)



エンドーサー

[BAPウェブサイトの「Where to Find」](#)のタブより世界中のBAPエンドーサー企業の検索をすることができます。

また、フィルターをかけた検索によりアジア地域での小売、サプライヤーなど以下のように確認することも可能です。以下はアジア地域でのサプライヤーの一部です。

BAP Customers

FILTER

Asia ▾

Supplier ▾



BSP認証について(1/2ページ目)

BSP(Best Seafood Practice)認証は、信頼できるサプライチェーンの保障を提供することを目指しています。GAAの姉妹団体であるGSA(Global Seafood Assurances)によって管理・運営されています。海の中の管理はMSC認証などのGSSIベンチマークを受けている認証、海の上ではBSP認証が役割を果たすことで乗組員の船上における権利・安全、フードコンタミネーションの防止を含め、サプライチェーン全てをカバーすることができます。

BSP(Best Seafood Practices)認証はRFVS基準とSPS基準の二つで構成されています。

・**RFVS基準**(Responsible Fishing Vessel Standard)は乗組員の船上における権利・安全と福祉に関する基準。

Ver.1.0

・**SPS基準**(Seafood Processing Standard)は加工工場に関する基準。BAP認証の加工工場基準と同じもの。

Ver. 5.0

RESPONSIBLE FISHING
VESSEL STANDARD

RFVS基準



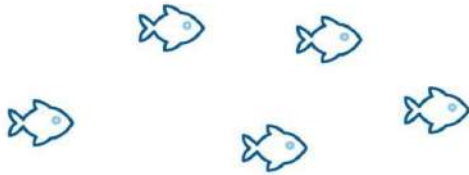
PROCESSING PLANTS

SPS基準



GSSI BENCHMARKED
CERTIFICATION PROGRAMS

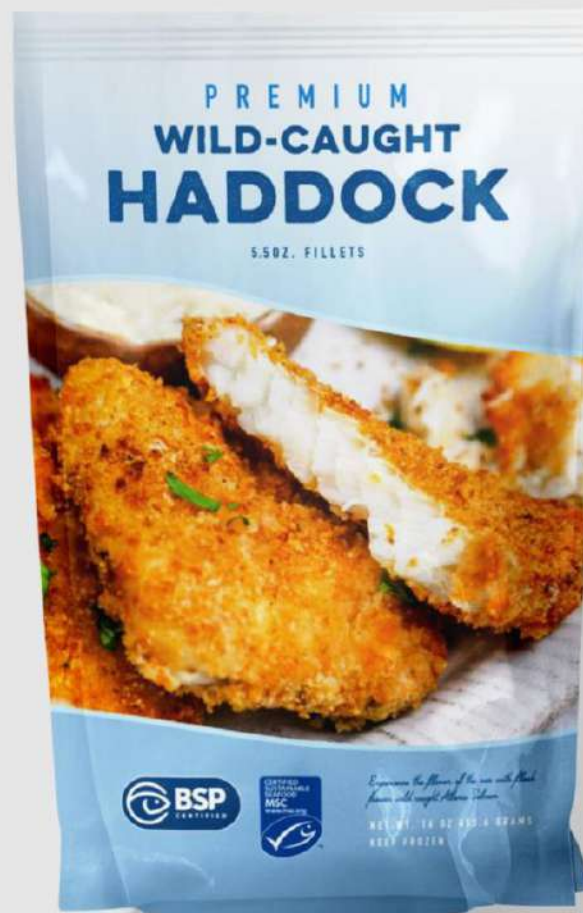
MSC認証などのGSSIベンチマークを受けている認証



BSP認証について(2/2ページ目)

BSP認証は乗組員の船上における権利・安全に関して、使用可能な世界で唯一の認証です。
全ての規模の商業漁船に対応可能で、IUU漁業の撲滅、トレーサビリティの確保に貢献します。
BSP認証に関するご質問は以下のホームページもしくは、ニュースレター最終ページの連絡先までお問い合わせ下さいませ。

BSP認証に関する情報(英語): <http://www.seafoodassurances.org/ProgramStandards/RFVS>



GOALカンファレンスについて

日本時間4月16日0時の「Tomorrow's Aquaculture Will Be Shaped by Today's Emerging Technologies」を皮切りに、2021年のGOALカンファレンスを開始します。このセッションでは Tony Fadell氏を含む12人が登壇します。Tony Fadell氏は過去にはAppleでのiPodやiPhoneでの仕事で知られており、Nest Labsの創業者でもあります。

Fadell氏に加えてセッションに参加するのは、主催者で GAAのメディアGAAであるAdvocateの編集者 James Wright、共同主催者のAqua-SparkのAmy Novogratz氏、Hatch BlueのCarsten Krome氏と今後何年にも渡って養殖業の基礎的な深層学習において活動する8人の起業家たちです。

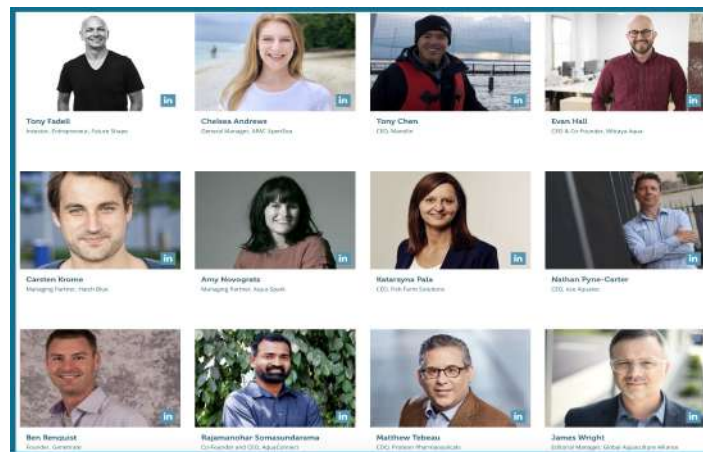
セッションに参加するには [GAA会員にご登録ください](#)。

すでにGAAメンバーの方は、4月16日の0時のセッション開始前に emailにてログイン情報が送られます。

業界での認知度を高められる、[スポンサー](#)も募集中です。

詳しくはGAAウェブサイトBlogページへ

<https://www.aquaculturealliance.org/blog/goal-2021-relaunch/>



海外マーケットでの動き(トレーサビリティ)

BAP認証とブロックチェーンを利用したトレーサビリティシステムを開発するWholechain社は生産現場からのサプライチェーンでのBAP認証の可視性を強化するために、「リアルタイムでのデータシェア」を開発しています。

タイの水産加工メーカー大手 Thai Union社と業界をリードするインドのエビサプライヤー Devi Seafoods社との協働により、企業がサプライチェーン内の商品を追跡する際に、BAP認証施設からの情報を直接、BAP認証の内部システムに転送する事を可能にするために取り組んでいます。

これにより、生産者、購買者、規制当局、GAAは重複なくトレーサビリティ要件を満たすことができます。

2020年12月、このベータ版がWholechain社でリリースされました。Chicken of the Sea社とThai Union社は、小売店で販売されるインドからのBAP4つ星冷凍エビの出荷で実装を開始しました。

※Chicken of the Seaはアメリカ、カリフォルニア州に本社を置く水産サプライヤー。

<https://www.chickenofthesea.com/>

GAAプレジデント George Chamberlain: 「リアルタイムのデジタルトレーサビリティは、小売業者と消費者がQRコードを介して簡単に入力できる新しい世界を開き、シーフード製品の完全な来歴と持続可能性を表示します。これは基本的な情報から始まりますが、これまで不可能だった方法で責任ある生産プロセスの全容を伝える機会につながります。」

Wholechain テクノロジーオペレーションディレクター Annie Opel: 「このBAPとの協働をユーザーに紹介できることを嬉しく思います。相互運用性と関連データシステムの接続は、特に食品業界において、トレーサビリティがどのように機能するかの未来であると考えています。それはビジネス、認証、消費者にとっても良いことです。これは、BAPだけでなく、認証全般にとっても価値のある革新であると考えており、他の認証がBAPに続く事を期待しています。BAPチームやThai Union社のメンバーと協力できたことを光栄に思います。今後の道のりが楽しみです。」

詳細はGAAブログへ(英文)

<https://bapcertification.org/blog/traceability-initiative-2021/>

ロゴ使用ガイドラインの一部改訂について

BAP認証ロゴ使用のガイドラインが一部改訂され下記の変更がありました。

変更点1:消費者向けパックでのスターロゴ(左下の画像)の使用が任意になりました。

引き続き、認証施設を分かり易く表示するためにスターロゴをご使用頂くことは可能です。

オプション2のようにBAPの頭文字ロゴと認証番号がセットになっているロゴ、オプション3のようにロゴとは別にBAP認証番号を表示するという選択肢が増えました。

変更点2:バルクパッケージ用のロゴ(右下の画像)の使用は 2022年1月1日を期限に無くなり、変更点1に統合されます。

ロゴ使用ガイドラインの改訂についての GAAブログ

<https://bapcertification.org/blog/logo-use-requirements/>

改訂されたロゴ使用ガイドライン(英語) ※変更点は P18,19に記載されています。

<https://www.bapcertification.org/Downloadables/pdf/BAP%20-%20Policy%20-%20BAP%20Logo%20Use%20Requirements%20-%20Issue%202.4%20-%202018-March-2021.pdf>

スターロゴ



オプション2



オプション3



バルクパッケージ用



マーケットとして導入しやすいBAP認証

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象になり年に一度の監査が必要になります。商品の加工が発生しないサプライヤー、小売、社員食堂やレストランなどのフードサービスはエンドーサー合意書の締結のみで無料でBAPロゴの使用やリリース、レポート等での発信が可能になります。

特例1: 個別包装された商品を開封、再梱包またはラベルの張り替えをせず、商品の梱包やラベルをそのままの状態での流通する場合はその施設は加工工場認証の取得対象外になり、エンドーサー合意書の締結のみ必要となりBAPロゴ付き商品として、そのまま販売して頂けます。

特例2: 最終消費現場での商品の加工、調理、再包装、またラベル張り替えをする場合は加工工場認証の対象外となり、エンドーサー合意書の締結のみでロゴを使用して頂けます。(スーパーのバックヤード加工、飲食店・レストラン・ホテルなどの調理場加工など。)

また、複数の水産物を使用した製品に関して、使用された一部の水産物がBAP認証であれば楕円のロゴマークを使用することができます。可能な限りどの水産物がBAP認証なのかを明記してください。

詳しくは<https://japan.bapcertification.org/Marketing>よりBAP認証ロゴガイドラインをご参照ください。

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象となります。

BAP認証水産物を販売促進または購買支援する企業はエンドーサー契約の対象となります。



BAP認証の日本語版の各種資料について

BAP認証に関する日本語の三つ折りパンフレットや、各種資料は以下のリンク先より無料ダウンロードすることができます。是非ご利用下さいませ。

<https://japan.bapcertification.org/Marketing>

GAAとBAP認証のご案内



Download

養殖漁業ファクトシート




Download

BAP認証ロゴガイドライン



2019年 年次レポート





BAP認証ニュースレターに関する
お問い合わせは以下までお願い致
します。

※二次利用をご希望の方はお問い合わせ
下さいませ。

BAP認証日本マーケット担当
芝井幸太

メールアドレス：
kota.shibai@bapcertification.org

電話番号：
080-2167-0086

BAP認証ウェブサイト
<https://japan.bapcertification.org/>

※配信停止をご希望の方は、こちらまで「配信停止」とご連絡くださいませ。